

あなたの心の叫びを聞いて

「僕が何か悪いことをしましたか？ 僕はどうすれば良かったのか教えて下さい、教育長。」

あなたの心の叫びを聞いて、私が思ったことを、ここに記したいと思います。

「あなたは何も悪いことをしていません。」

心に深い傷を負い、長きにわたり今もなお苦しみ、つらい思いをされていることに、大変申し訳ない気持ちと後悔の気持ちで一杯です。

あなたはきっと、中学校生活で悩んだり、壁にぶつかったり、つらい思いをした時、ご家族はもちろんのこと、先生にも話をされてきたことだと思います。

それにもかかわらず、学校や教育委員会は、あなたのつらい思いを心から受け止めることができませんでした。あなたを守り、親身になって、あなたを助けることをしなかった大人が悪いと強く感じています。

私は、中学生の時のあなたが様々なことにチャレンジして自分を磨こう、成長しようと頑張っていたと聞いています。私たちは、あなたの夢の実現に向けて全力でサポートし、応援していきます。

最後に、学校、教育委員会では、学校生活で苦しむお子さんを二度と出さないように、市内すべての小・中学校を「子どもファーストの学校」にすることをお約束いたします。

令和8年1月30日

桶川市教育委員会教育長

岩田 泉